

平成 29 年度文部科学省ESD関連予算(案)

※ () は平成 28 年度予算額

・日本/ユネスコパートナーシップ事業：93 百万円の内数 (80 百万円の内数)

国内のユネスコ活動に関係のある機関等の活動強化を通じて、ユネスコ活動の普及と理解の促進を図り、ユネスコの理念・目標の実現を目指す。従来のユネスコスクール支援事業、ユースフォーラム開催等に加え、学校における ESD の取組を更に効果的に推進する。

・グローバル人材の育成に向けた ESD の推進：56 百万円 (61 百万円)

教育委員会及び大学が中心となり、ユネスコ協会及び企業等の協力を得つつ、ESD の推進拠点であるユネスコスクールとともにコンソーシアムを形成し、国内における ESD の実践・普及及び国内外における学校間の交流等を促進することにより、グローバルに活躍するために求められる資質・能力を育む ESD 活動の幅を広げ、国際的視野を持つグローバル人材の裾野を広げる。

・ESD グローバル・アクション・プログラム (GAP) 信託基金：103 百万円 (126 百万円)

「ESD グローバル・アクション・プログラム (GAP)」に明記されている優先行動分野に重点的に取り組み、ESD を戦略的により一層推進するため、ユネスコに信託基金を拠出し、「地域コミュニティ」、「教育者」、「ユース」等に関する事業を実施する。